

令和6年度厚生労働科学研究費補助金 強度行動障害者支援のための指導的人材養成プログラムの開発および地域支援体制の構築のための研究



第1部

広域的支援人材 は何を期待されているのか



厚生労働省 山根和史 発達障害施策調整官が お応えします

中核的人材養成研修がはじまり、強度行動障害のある人たちを地域で支えていくための体制作りが進み始めました。地域の支援体制作りで重要な役割を果たすのが**広域的支援人材**です。
広域的支援人材は何を期待されていて、地域の体制作りにおいてどのように活用していくのか。
強度行動障害のある人たちを地域で支えている関係者が集い、広域的支援人材や地域の支援体制作りについて、厚生労働省の専門官を招き最新の情報を共有します。

日時	2025年 1月21日 (火) 13:00-17:00
内容	第1部：広域的支援人材は何を期待されているのか 第2部：地域の支援体制づくり “チーム佐賀”はこうして生まれ育っている 第3部：つながりtime 2分毎に人を変え名刺交換をする 出合いの時間です
場所	アットビジネスセンター東京駅八重洲通り501号室 東京都中央区八丁堀1-9-8 八重洲通ハタビル ■JR東京駅（八重洲口）より徒歩約10分 ■日比谷線 八丁堀駅より徒歩2分
参加費	無料 交通費等は、各自ご負担ください

対象者	広域的支援人材名簿登録者、都道府県政令指定都市障害福祉担当課、発達障害者支援センター、都道府県の自立支援協議会行動障害関連部会のメンバー、発達障害者地域支援マネジャー、中核的人材養成研修ディレクター、トレーナー（SV）、サブト・レーナー等経験者 定員150名（定員超えた場合は、抽選となります）
申込方法 期間	下記、公式WEBサイト もしくは 右のQRコードからお申込みください https://www.nozomi.go.jp/training/kouiki.html 令和6年10月17日10:00～11月29日10:00まで ※受講決定につきましては、12月13日頃にお申し込み頂きましたメールアドレスにお知らせを致します。

第2部 福島 龍三郎 氏



- ・社会福祉法人はる理事長
- ・NPO法人佐賀中部障がい者ふくしネット理事長 ほか
- ・強度行動障害支援者養成研修（指導者研修）、中核的支援人材養成研修作成メンバーの一人

“強度行動障害の状態になった方たちを支えたい”という思いでスタートしたグループホーム。しかし、「はる」だけでは支えきれなかった。地域として支えていく必要性を実感して、地域のネットワーク作りと人材育成に取り組んできました。当日は、ネットワークの作り方と広域的支援人材の活用についてお話しします。



広域的支援人材とは

広域的支援人材とは、令和6（2024）年4月の報酬改定で生まれた**集中的支援**のアドバイスを行う役割と中核的人材を育成し、地域支援体制のスキルアップを図る役割を担います。



集中的支援とは

集中的支援とは、令和6（2024）年4月の報酬改定で生まれ、強度行動障害を有する児者の状態が悪化した場合において

I. 広域的支援人材が指定障害者支援施設、共同生活援助事業所等を訪問し、集中的支援を行う

II. 集中的支援が必要な利用者を、集中的支援を提供できる体制を備えているものとして都道府県等が選定する指定短期入所事業所、指定障害者支援施設、指定共同生活援助事業所、指定障害児入所施設が、他の指定障害福祉サービス事業所又は指定障害者支援施設等で受け入れ、対象利用者に対して集中的支援を行う

ものです。

集中的支援のマネジメントに求められる関わり



集中的支援の実際には、事業所や地域の標準的な支援の理解と定着、それを押し進めるチーム作りが必要です。（左図）

事業所のチーム作りでは、法人経営者（事業所管理者）の標準的支援の理解が重要です。標準的な支援の定着では、**核となる人材の育成**を促すとともに、チームメンバーへのサポートや的確な助言が求められます。

また地域での標準的な支援の定着も大切です。支給決定する行政のもとで、サービス等利用計画を作成する相談支援専門員を中心に、関係機関、事業所間の連携をはかり地域のチーム作りが必要です。その際、各都道府県に設置されている発達障害者支援センター、発達障害者地域支援マネージャーなど行動障害支援で中核となる機関、人材はフル活用する必要があります。

- # 事業所＆地域のチーム作り
- # 法人経営者（事業所管理者）
- # 標準的な支援の定着
- # チームメンバーへのサポート＆助言
- # 関係機関、事業所間の連携

毎年、「情報アップデートDay since 2024」を開催します



国立のぞみの園では、広域的支援人材が、全国各地の取組等に関する情報をアップデートできる機会を用意します。今年は、キックオフとして集合形式で開催し、人とのつながりを深めます。

令和7年度以降は、■チームや地域のつくり方、■標準的な支援の定着のさせ方、■チームや事業所、管理者のサポートの仕方、■関係機関、事業所間の連携の仕方、■助言の仕方など、取り上げるテーマを広域的支援人材の皆様と検討しながら、オンデマンドを含めた開催を予定しております。

集合形式での開催は貴重な機会となりますので、是非、ご参加ください。

お願い 第3部（2分×30回＝60分）で名刺交換をします。**名刺**を多めにご持参ください。